

資料収集保存部 資料調査室（原研情報室）

A 欧 文

A-a

1. Demidchik Y, Demidchik E, Reiners C, Biko J, Mine M, Saenko V, Yamashita S: Comprehensive clinical assessment of 740 cases of surgically treated thyroid cancer in children of Belarus. *Ann Surg* 243 (4): 525-532, 2006 (IF: 7.678) *
2. Nanashima A, Sumida Y, Abo T, Shindou H, Fukuoka H, Takeshita H, Hidaka S, Tanaka K, Sawai T, Yasutake T, Nagayasu T, Omagari K, Mine M: Modified Japan integrated staging is currently the best available staging system for hepatocellular carcinoma patients who have undergone hepatectomy. *J Gastroenterol* 41 (3): 250-256, 2006 (IF: 1.927) *

B 邦 文

B-a

1. 横田賢一, 三根真理子, 近藤久義, 本田純久, 朝長万左男, 田川眞須子, 柴田義貞: 長崎原爆被爆者の健診受診行動. *広島医学* 59(4):315-317, 2006
2. 近藤久義, 三根真理子, 横田賢一, 田川眞須子, 柴田義貞: 長崎市原爆被爆者における脈圧と死亡との関連. *広島医学* 59(4): 326-329, 2006
3. 山田真生, 本田純久, 岩永正子, 近藤久義, 三根真理子, 横田賢一, 柴田義貞: リンパ・造血組織の悪性新生物により死亡した被爆者における白血球数等の経時変化. *広島医学* 59(4): 333-335, 2006
4. 三根真理子, 柴田義貞, 横田賢一, 烏山ふみ子, 本田純久, 近藤久義, 太田保之: 被爆者証言の分析. *広島医学* 59(4): 348-351, 2006
5. 三根真理子, 柴田義貞, 横田賢一, 濱田 茂, 本田純久, 近藤久義, 太田保之: 被爆者証言の分析—健康と被爆の関連から—. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 206-209, 2006
6. 一ノ瀬仁志, 中根秀之, 木下裕久, 石崎裕香, 室井千代, 小澤寛樹, 中根允文, 三根真理子, 太田保之: 長崎原爆被爆体験者の心身の健康に関する調査研究. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 222-225, 2006
7. 横田賢一, 本田純久, 三根真理子, 近藤久義, 柴田義貞: 長崎原爆被爆者の急性症状に関する情報の確かさ. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 226-228, 2006
8. 貞森直樹, 三根真理子, 中村幸治, 松尾孝幸, 笠 伸年, 越智 章, 安永暁生, 古賀久伸, 宮崎久彌, 野元康之, 柴田尚武: 長崎原爆被爆者における1993年以降の髄膜腫発生率調査. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 240-244, 2006
9. 近藤久義, 三根真理子, 横田賢一, 田川眞須子, 柴田義貞: 長崎市原爆被爆者におけるHbA_{1c}値要指導の割合. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 253-256, 2006
10. 山川大介, 三根真理子, 太田保之, 濱田 茂, 本田純久, 柴田義貞: 長崎原爆被爆者における心的外傷後ストレス障害とその要因. *長崎医学会雑誌* 81(特集号): 210-212, 2006

B-c

1. 三根真理子: 長崎原爆から環境問題を考える. (谷村賢治, 齋藤 寛(編): 環境知を育む, 税務経理協会, 東京, pp.131-149 所収) 2006

B-d

1. 三根真理子: 原爆被爆者の調査研究から放射線リスクを見ると. 月刊エネルギー特集版, pp.11-13, 2006

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2006	2	0	0	0	2	2	10	0	1	1	12	14

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2006	0	0	0	0	0	0	11	11	11

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
	論文総数		欧文論文総数	
2006	0.143	1	1	1

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2006	9.605	4.803	4.803